

まちのできごと



1月14日 消防出初式（大竹消防歌の披露）



1月9日 成人のつどい

あきがき

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」が昨年実施されました。このアンケート結果は、市民が心配していることや不安に思っている事を分析し、第五次大竹市総合計画「わがまちプラン」のまちづくりの今後役立てられます。

アンケート結果から「地域産業が盛んでまちの元気があると思う」と答えた人は33・2%で全設問中の幸せ感順位で最下位でした。工業、商業などの衰退でまちの活気、人口の減少を危惧している市民の心配が明らかとなりました。

かつては、広島県と大竹市は積極的な企業誘致を行い、昭和33年に日本で最初の石油コンビナートが形成され、高度成長期の象徴となりました。当然に多くの雇用が確保され、多くの住居が求められ活気に満ち溢れていました。

その後のオイルショック以降産業界は大きなダメージを受け、めざましい発展にブレーキがかかり、逆に人口減少に拍車がかかりました。

現在に至っても、人口減少はこの市町村も同様の問題を抱えていることは確かです。とはいえ、確実に人口増を図っている市町村の存在も確かです。

人々が「仕事」「結婚」「住居」など人生における転機を迎え、その拠点をどこに求めていくか考えた時に、「もちろん大竹市」「やっぱり大竹市」と選択されるような定住促進策を議会と市民が丸となり考案し、再び活気ある大竹市を今の子ども達にも見せてあげたいものです。

広報広聴特別委員

乃美	晴一	児玉	朋也
網谷	芳孝	藤井	馨
北林	隆	山崎	年一
日域	究		

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。